

# 名古屋大須ロータリークラブ

## WEEKLY REPORT

NO 921

＜本年度クラブ会長方針＞

LEAD THE WAY - 率先しよう



承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
 会長 神田 憲 URL <http://www.nagoya-osu.org> Email [office@nagoya-osu.org](mailto:office@nagoya-osu.org)  
 幹事 内藤 明 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337  
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸腰ビル 6F

2006～2007 年度

R.I会長

ウィリアム B. ボイド

第1073  
回例会

於 名古屋東急ホテル  
平成18年7月20日(木)

出席計算数 63 中 49 名出席  
 出席率 77.78%  
 前々回出席率 95.16%

### ロータリーング

「ROTARY」

指揮者 照井 葉  
 プアノ伴奏 電板 玲子

### ゲスト

名古屋市長 稲葉 健太郎  
 理事 長 木村 剛  
 職能指導員 稲葉 健太郎



挨拶をされる  
木村理事長さん

### ニコボックス

今回はマニラの風景を報告させて頂きます。  
 神田 憲  
 鬼頭前幹事、吉野様、内藤幹事、前田副幹事頑張ってください。  
 歴代幹事会  
 丹下さんのお嬢さん、お元気でフィリピンを楽しんで下さい。  
 吉田 隆彦

発表会、無事終わりました。皆さんご挨拶ありがとうございます。

オオスシンガーズ  
名古屋市長、稲葉様、よろしくお願います。

先日はお祝いをして下さいましてありがとうございます。  
高木 正義  
渡辺 剛男

早く梅雨明けをいじめますね。  
加藤 千彦



### 会長挨拶

『マニラを訪ねて』



神田 憲

1986年・90年の2回 break upしました。

会場はマニラホテルで毎週木曜日の12時に開催です。

このホテルはセキュリティが厳しく、会場に入るまで3回のチェックがあり閉口しました。

バナナの繊維で編んだバロンタガログと言ったフィリピンの正装を着ている会員が入口まで溢れており、空いた席を探すのも難しい位でした。

いままでも私が訪問した最大の会員数のRCで約300名、日本人が6名程在籍をされていることでした。壇上には "SINCE 1919・THE FIRST IN ASIA" という横断幕が張られています。その訪問時初めてこのRCがアジアで始めて創設されたクラブだと言ふ事を知りました。

先ず国歌「最愛の地」音唱からはじまり、「サンパギタ」と言ふ国化の唄を歌いました。国民性でしょうか歌は素晴らしい上手です。大須シンガーズに匹敵します。



2回目に訪問した時はこのマニラホテルに泊まりましたので時間的な余裕もあり、食事中にメンバーともゆづり話しました。ただ巻舌の英語で聞きにくかったです。奉仕活動が活発で ROOM ROSET

ary Club of Manila (a) PROJECTを励行。

\* クリーンな川にするゾーン・プロジェクト：増大するマニラ人口の為に川は「ミ捨て場と化し、その清掃のため市内のゾーンのRCと地域の居住者・企業・学校・地方自治体と協力し、クリーン作戦を展開。

\* セーブ・ザ・チルドレンプロジェクト：ストリートチルドレンの保護・世話 子供たちを保護する施設への援助。

\* ローター目(眼センター)を作り、治療費が払えない人への無償治療や無償の手術。

\* 薬物濫用への防止対策プログラム。  
\* 先生(学校)の育成プログラム：教育の励行  
\* 選挙学プログラム等々。

これらの奉仕活動はすべてメニアイアへ広報活動をしている様子でした。

例会で隣に座った方はお医者さんでしたので、会員のお医者さんは施設をまわり、無償の診療奉仕や公衆衛生の励行をしていると話されています。

大きなクラブには、よへまてまて奉仕活動をやっているのだなと感心しました。

現在マニラRCの例会場はシャングリラ・ホテルに変更されています。

3810地区メトロマニラは70

のPRCがあり、その内62のPRCは夜間例会(19時または20時スタート)での例会出席される方は注意下さい。サニーマップ。



卓話

『障害者の雇用を進めるために』



名古屋市長総合リハビリテーションセンター 稲葉健太郎

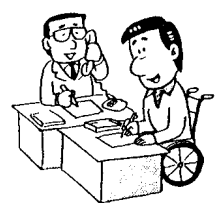
身体障害・知的障害・精神障害を持つた、いわゆる「障害者」の総計は日本国民全体の5%以上、最近はその外にも自閉症などの発達障害や交通事故の後遺症などによる高次脳機能障害もその一つに位置づけられています。彼らの願いは同年齢の方と同じ生活をするところ即ち、働いて自立した生活を営み、社会の役に立ちたいということです。現在働いている障害者の割合は50%前後で、就業先は作業所や授産施設が半分以上を占めています。民間企業の

雇用率は1.4%と障害者雇用促進法で定められた1.8%にも達していません。これには、働きたくて働けず、働きたいのか分からず、自信のない障害者側も雇いたくても適当な仕事が見当たらず、安全面や設備に対して配慮してもらえない雇用者側、双方に壁が生じている現状があります。

その理由が、やはり企業・障害者間だけで解決しようとするには無理があります。その面者をつなぐためであるのが、就業斡旋の「ハローワーク」も我々のような「支援機関」、そして種々設けられた「障害者雇用促進制度」で、これらの機関や制度をつまぐご利用頂けば、企業・障害者双方の不安材料を取り除くことができます。また、ここで皆様にお願いたいのには、障害者を雇用する際は社長の皆様などトップの方がその方針を明確に打ち出して頂き、会社全体でバックアップして頂くことです。そうすることでその人も立派に勤務をこなすことができます。中には、その人に配慮して始められた仕事上のルールが他の人にとっても有益であることが分かり、全体の効率化に結びついた例もあります。

皆様の企業で行ってなっている仕事も、その内容を細分化したり特化するところによって、十分障害

を持つ方が働く環境を作り出すことができます。私共は障害者に対して支援を行うと共に、そのした企業に対するお手伝いもさせて頂いておきますので、障害者雇用にお持ちの皆様は、是非気軽に声をかけてください。



職業奉仕だより

「職業奉仕だより」

職業奉仕委員長 近藤宏一郎  
今回の「職業奉仕だより」というテーマのもとにロータリーの歴史・理念を掲載いたします。名古屋みなとRC会員、関口宗男編「ロータリー職業奉仕を理解するために」を参考にさせていただきます。

ロータリー設立

1905年2月23日、ポール・ハリスはティアポン通りに面したユニティビル711号室で、シカゴでもっとも親しい3人の友人、石灰商のシルバスター・シール、鉱山技師のガスターバス・ローア、洋服屋のハイラム・ショーラーと集まってクラブ創立の相談をします。「シカゴの街の厳しい経済情勢の中でお互いに心が淋しい。お互い肩を寄せ

合い、しっかりと助け合おうとするクラブを創りたい」と言わないか」ということを話したのです。そして、「みんなが仲良くなるためには、同業者がいると、言いついても心を閉鎖してできない。同業者を排除して一つの職種から一人だけ会員を選ぼう」という原則を立てました。一業一会員制だから大抵の職種は揃うはずだ。必要なものを互いに安く提供し合おうじゃないか」と相互扶助を考へ互恵主義を原則に加えました。それと、出席しなければ意味がないのだから4回連続欠席で資格を失うことを決めたのです。業種の異なる会員達は、お互いに相手のために役に立つことに喜びを感じることに例会でアイディアを交換すること職業人として成長し、小企業から飛躍への希望がらくらくとくる。その上、異業種の人々が安心して語り合い楽しみ、親睦が深まり、物心両面にわたる喜びが会員の心に広がったのです。会員達は厳しいシカゴの社会の中で今迄味わったことのない素晴らしい体験をしたのです。

例会に集まった会員達にとってロータリークラブは都市生活の砂漠の中に出現したオアシスとなったのです。「幸福の日は再び回ってきた」との思いがあった。例会の入り口で、気兼ねや遠慮を一扫し、笑いと友情あふれる雰囲気から会員達は再び少年に戻ったのです。

初代会長にシルバスター・シールが選ばれました。

注2001年の規定審議会において、一業一会員制の原則の代わりに一業多会員制が採用されました。その内容は「会員の種類を正会員と名誉会員の2種類とする。したがって従来の Additio-nal, Senior, Past Service等の会員区分を廃止する。同一職業分類の会員を50名とし、51名以上のクラブは10%を超えてはならない。職業分類は小分類を基準とする。この制定案が発行する時点で既に会員である者は、会員身分を失うことはない」というものである。

派遣青少年交換学生  
母、朋者さん出発



8月6日(日)中部国際空港  
午前8時5分発 成田行  
全口PRENCE  
◎お見送り◎  
午前7時 3F中央案内所前集合

8月6日(木)例会の御案内  
「TALK OUT DAY」  
於：名古屋東急ホテル

プリント委員会  
山口 正孝・神野 邦利・大原 敏正